

# Juntos!! 招へいプログラムの記録 FEALAC グループ (ブラジル・ウベルランディア州立大学) テーマ:日本のロボット技術

#### 1. プログラム概要

「対日理解促進交流プログラム」の一環として、ブラジルより、IEEE 中南米ロボット・コンテストの FEALAC 賞受賞チームであり、ロボット技術に関心を有する大学生/社会人6 名を招へいし、日本の政治、社会、歴史及び外交政策に関する理解促進や、日本の魅力等の積極的な発信を目指し、3 月 14 日から 3 月 22 日までの 8 泊 9 日の日程でプログラムを実施しました。

#### 2. 参加国・人数

ブラジル 6名

### 3. 訪問地

東京都、宮城県

## 4. 日程

3月14日(月) 成田国際空港より入国 3月15日(火) 来日オリエンテーション JICA 研究所 細野シニア・リサーチ・アドバイザーによる日本 理解講義/基調講演 外務省 高瀬中南米局長主催レセプション 3月16日(水) 東京工業大学との学校交流 千葉工業大学東京スカイツリータウンキャンパス視察 宮城県へ移動 3月17日(木) 東北大学災害科学国際研究所視察 仙台高等専門学校との学校交流、茶道体験 3月18日(金) 名取市長表敬 ホームステイ ホームステイ 3月19日(土) 3月20日(日) 都内へ移動 秋葉原視察 3月21日(月) 日本科学未来館視察 3月22日(火) 成果報告会

黄川田外務大臣政務官表敬

羽田国際空港より出国

# 5. Juntos!! プログラム記録写真

# FEALAC グループ



3/17 【最先端技術】

東北大学災害科学国際研究所(仙台市)



3/18 【学校交流】

仙台高等専門学校(名取市)



3/18 【地方自治体表敬】

名取市長 (名取市)



3/18 【学校交流、文化体験】

仙台高等専門学校にて茶道体験(名取市)



3/19 【ホームステイ】(名取市)



3/22 【報告会】



3月22日 【黄川田政務官表敬】

#### 6. 参加者の感想

#### ● ブラジル (大学生)

日本は、驚くほど人々の教育レベルが高い国です。日本人はいつでも周りに気を配る素晴らしい人たちです。日本の文化や芸術は長い歴史があり美しいものです。日本人はそれらを今日に至るまでよく保ち、そして日本は世界でただ一つの伝統的文化とロボットが協調している国です。

ホームステイは、信じられないほど素敵な経験でした。ホームステイのおかげで日本に対する理解がより一層深まりましたし、日常的な名取市の人々の生活を知ることも出来ました。2011 年の津波被害からの復興の様子、日本人の粘り強さも見せていただきました。

今回のプログラムに参加できたことを非常に嬉しく思っています。来日前に日本はすごい国だと思っていましたが、今は、思っていた以上に素晴らしい国だと感じています。 このような機会を与えてくださったことに感謝いたします。

#### ● ブラジル (大学生)

今回の訪日で「世界を見る目」が個人的に少し変化しました。日本は、多様性があり、様々な機会に恵まれて世界がより広がっています。これは私個人にとっては非常に重要なことです。今回の良く計画された様々なプログラムから、「理想の実現とはこういうことだ」と感じました。

今回の訪日で日本の歴史や文化について多くを学ぶことが出来ました。ホストファミリーは、まるで家族のように迎えてくださいました。

特に印象に残ったことは、日本の教育、日本人のマナーの良さ、新しいテクノロジーに関する好奇心です。これらは日本のどんな年齢層の人にも特徴的なことだと思えます。 日本人のマナーの良さは、あの津波災害でも発揮されたと思います。皆が津波犠牲者の ことを話すときには、哀悼の気持ちをもって話してくれるのがわかりました。

#### ● ブラジル (大学生)

日本は素晴らしい国です。来日前から日本のことを素晴らしいと思っていましたが、 今は、日本に魅了されています。今回の訪問で、機械工学分野での意見交換をしたり、日 本経済の実情を知ったり、日本の歴史を体験したり、新しい友人をつくることができまし た。また日系人である私にとっては、今回の訪日は、自分の祖先の歴史を知ることができ る絶好の機会でありました。

ホストファミリーにもお礼を申し上げます。もちろん、我々のロボコンチームを招待してくださった日本政府にも感謝いたします。今後とも友好的な日伯の関係が続くことを願っています。

今回の経験から、自分の将来として、日本を自分の専門分野であるロボット工学のさらなる勉学・研究の場所に選んでも良いのではないかと考えています。将来は日本に住むようになるかも・・・とも考えたりしています。ありがとうございました。

# 7. 参加者の帰国後の発信内容





# アクションプラン

Facebook 発信





## Facebook 発信

Facebook 発信





Facebook 発信

Instagram 発信

プログラム参加中の様子や参加者の声はSNSを使って広く発信されました。 Twitter, Facebook ハッシュタグ #Juntos japan2015